

## 競技の進め方とルール

### 組合せと対戦場所

1. 対戦場所・試合時間・ホールの座席位置は決められています。プログラムで確認してください。

### ルール

1. 1試合の時間は、5分間です。
2. 競技者は向い合せに、横に並んで座ります。100枚のかるた札を50枚ずつに分けてチームの持ち札とし、3列に並べます。
3. 暗記時間は1分間です。札の位置をしっかりと頭に入れましょう。
4. 始めのあいさつをして、よみ手の声に従って札を取ります。次の札の上の句をよむまでは、お尻をかかどにつけて、手は膝に置きます。
5. 札を取る時は両手を使わないでください。また、よまれた札や周辺の札を、大きく飛ばさないようにしてください。
6. 相手チームの札を取ったときは、自陣の札を相手チームへおくります。
7. お手つきをすると、相手チームからお手つきの回数分の札がおくられます。
8. 試合が早く終了した場合は、他のチームが競技しているので、静かにその場で待機してください。
9. “終了”の合図の後、直ぐに手を膝に置きます。札には触らないでください。
10. 審判が枚数を確認します。席を離れないでください。自陣の札が少ない方が勝ちとなります(取った数ではありません)。
11. 枚数が同じ場合は、その前の試合の残り札が少ない方の勝ちとします。なお、前の試合の枚数が同じ場合、不戦勝の場合、また試合が初戦の場合は、くじ引きによって勝敗を決めます。
12. 確認が終わったら、審判が試合の結果を話して、終りのあいさつをします。  
※自陣の札の配置を途中で変えるときは、相手に伝えてください。  
※競技かるた(百人一首)のような激しい取り方をしたり、大声を上げたりしないでください。  
※競技者は審判の判断だけに頼らず、フェアな態度で札のやり取りをしてください。

### かるた札のよみ方

1. 最初によむ札は、練習なので取らないでください。
2. よみ手は上の句をよみ、続けて下の句をよみます。
3. 札を取るまで、下の句をくりかえします。
4. 次の札に進む時は、前の札の下の句をよんでから、新しい札をよみます。

### 競技者の代理について

1. 申し込んだ競技者が急病などで来ることができなくなり、代替りの人が試合に出る場合は、試合前に係に申し出てください。ただし代替りの人は、他のチームで申し込んでいない人に限ります。代替りの人がいない場合には、2人一組で競技をしていただきます。ただし、参加者が1人になった場合には、そのチームは棄権となります。